

2025年度
学生募集要項

誰かの
力になる
喜びを。

誰かの力になるとうれしい。
でもそれは簡単なことではありません。
その人と思うほど、
自分の未熟さに気付かされる。
だから私たちは、
学び続けるのだと思います。
もっと力になるために。



4年制大学卒業者対象[2年課程]

言語聴覚専攻科

専門実践教育訓練指定講座 継続申請予定



医療・福祉・スポーツをリハビリテーションで支える

大阪保健医療大学

目 次

大阪保健医療大学 言語聴覚専攻科ポリシー	2
入試概要	
修業年限・入学資格	4
試験区分・定員	4
入学試験日程	4
特待生制度(授業料減免制度)	5
入学試験成績の開示について	5
一般入試	
出願資格	6
入学試験科目	6
入学試験時間割	6
出願書類(提出書類)	6
AO入試	
出願資格	7
入学試験科目	7
入学試験時間割	7
出願書類(提出書類)	7
資格・免許活用型入試	
出願資格	8
入学試験科目	8
入学試験時間割	8
出願書類(提出書類)	8
出願から入学手続まで	
出願手続	
出願方法(インターネット出願)	9
入学検定料	10
出願書類提出先	10
出願に際しての注意事項	10
受験票について	10
受験上及び修学上の特別な配慮が必要な方へ	11
入学試験会場案内	11
入学試験についての注意事項	12
合格発表	12
入学手続	
入学金・学費	13
授業料減免制度	14
奨学金制度ほか	14
教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)	15
学校教育法施行規則	16
個人情報の取り扱いについて	16
入試Q&A(よくある質問)	17

まずは押さえておきたい言語聴覚専攻科の3つのポイント

Point ① 特待生制度(授業料減免制度)

入学試験(一般入試/AO入試/資格・免許活用型入試)(全11回)の各回において、要件を満たした方には授業料を減免する制度です。※本誌P5参照

Point ② 早期進学支援(入学検定料免除)

第1回～第6回の入試に出願される方は、入学検定料が無料になります。※本誌P10参照

Point ③ 学費分納制

学費を納めていただきやすいように、学納金(授業料等)を年間6期分納制にしています。※本誌P13参照

大阪保健医療大学 言語聴覚専攻科 ポリシー

1. 建学の精神

専門知識(学問)、技術(実習)、そして人間尊重(心)を兼備し、社会に貢献する人材の育成

2. 大学の目的

リハビリテーション医学・医療・福祉・保健を研究開発するとともに、高度な専門知識・理論及び応用を教授し、その成果を人間尊重の観点から広く応用できる21世紀にふさわしい人材の育成を目的としている。

3. 具体的な人材育成方針

対象者の理想を医学的・社会的見地に立って実現するために、傾聴と高いコミュニケーション能力をもってそれを理解し(傾聴とコミュニケーション)、自身が会得した最新の専門知識と技術に自信と誇りを持ち(自負)、対象者のためにそれを全力で活用するために、探究と創造の姿勢を持ち(創造)、対象者のために自身は何ができるのかを真摯に考える共感と献身の態度(献身・共感)を備えた人材を育成する。

4. 修了認定の方針(ディプロマポリシー)

本専攻科が目指すところは、本学の人材育成方針に則り社会に求められる臨床家、言語聴覚士を育成するところであり、その具体的な要件を示す。

- (1) 言語聴覚士国家試験に合格できる知識及び思考力を習得している(専門知識・技術)
- (2) 言語聴覚士の臨床に必要とされる知識・技能、思考力・判断力を身につけている(専門知識・技術)
- (3) 言語聴覚士として対象者のために自身は何ができるのかを真摯に考え、献身的、共感的態度が備わっている(献身・共感)
- (4) 言語聴覚士として探究と自己研鑽の姿勢を持ち、自ら学び、学ぶ意義を対象者の中に見出し、学びを還元することができる(創造)
- (5) 必要に応じて多様な人々と良好な関係を築くコミュニケーションスキルをもち、
言語聴覚士として主体性を持って協働する態度を身につけている(傾聴とコミュニケーション)
- (6) 言語聴覚士として誇りをもち、対象者の問題解決に向けて専門性を発揮し、最善を尽くすことができる(自負)

5. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー) ※DPとはディプロマポリシーを示す。

ディプロマポリシーに示された要件を満たす言語聴覚士を育成するため、段階的、階層的な学びを可能とするカリキュラム編成とする。

- (1) 言語聴覚療法に必要な基礎知識、専門知識・技術、臨床能力を段階的、階層的に学ぶことができるカリキュラム編成とする(DP1、2)
教育課程に示す通り、専門基礎知識、専門知識及び技術、臨床実践能力が階層的に修得できるカリキュラムとなっている
- (2) 臨床実習を講義科目と連携できるように配置し、知識と技術の統合を促す実学重視の科目配置とする(DP1、2)
臨床実習は3回に分けて実施し、各々「臨床の見学」「評価」「訓練」を主眼においた内容とする
- (3) 段階的、階層的カリキュラムの履修にあたっては、次段階までに必要な知識・技術を十分に修得し
次段階にステップアップできるように配慮する(DP1、2)
適宜個々人の修得状況を把握し、個別の修得度に応じた、また年次進行に応じた学修支援体制を導入する
- (4) それぞれの科目がなぜ言語聴覚療法学の習得に必要なのかを明確にして教授する(DP1、2)
科目や学習内容について、言語聴覚療法におけるその位置づけと必要性を確認し教示する
- (5) 本学が目指す人材を育成するためには、国家試験に合格し、国家資格を有することが前提である
そのため、国家試験を意識したカリキュラム、講義を実践する(DP1)
国家試験出題基準を視野に入れた授業内容とし、模擬試験や講義、グループ指導等必要な対策を講じる
- (6) 他者の主張や思いを理解し、対象者の問題解決や自己の課題に適切に対応する能力を身につける機会を設ける(DP2、3、4、5、6)
グループ学習や対象者を招いて実施する講義、臨床実習を各学年の課程に組み、教員によるフィードバックを丁寧に行う
- (7) 自ら学び探究する能力を養うための講義、演習を実施する(DP4)
グループ学習や対象者を招いて実施する講義での活動を通して、主体的に学ぶ場を提供する

6. 入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)

ディプロマポリシーを満たし、課程を修了するために必要な入学者受け入れ要件を示す。

- (1) 人間に関心を持ち、多様な価値観を受け入れる柔軟性を有する人
- (2) 言語聴覚士に必要な知識や技術を学ぶための基礎的な学力と表現力、コミュニケーション能力を有する人
- (3) 言語聴覚療法への興味と探究心を持ち、主体性を持って学ぶ態度を有する人
- (4) 言語聴覚士として社会や健康増進に貢献しようとする意志を持っている人

入試概要

修業年限・入学資格

修業年限	入学資格
2年	以下、1・2のいずれかに該当する者 1.学校教育法に定められた4年制大学を卒業された方(2025年3月卒業見込者を含む) 2.学校教育法施行規則第155条第1項第1号から第6号の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる方、及び2025年3月31日までにこれに該当する見込みの方 かつ言語聴覚士学校養成所指定規則第4条3項第1号に該当する方 ※【学校教育法施行規則】につきましては本誌P16をご覧ください。 ※入学資格に関するQ&Aは本誌P17をご覧ください。

試験区分・定員

試験区分	定員
一般入試	40名
AO入試	
資格・免許活用型入試	

入学試験日程(全入試区分共通)

※試験回：第1回～第6回の入試については**早期進学支援**により再受験される場合も入学検定料は免除されます。

試験回	試験日	NET出願登録期間 【最終日の20時59分まで】	入学検定料 【支払期限 20時59分まで】	出願書類提出期間 (郵送必着)(持参:月～土/10:00～18:00)	合格発表 (可否通知書 発送日)	入学金 納入締切日	第1期学納金 納入締切日
第1回	5月25日(土)	5月 1日(水)～ 5月17日(金)	免除	5月 1日(水)～ 5月18日(土)	5月29日(水)	6月 5日(水)	6月19日(水)
第2回	6月16日(日)	5月19日(日)～ 6月 7日(金)	免除	5月19日(日)～ 6月 8日(土)	6月19日(水)	6月26日(水)	7月10日(水)
第3回	7月13日(土)	6月 9日(日)～ 7月 5日(金)	免除	6月 9日(日)～ 7月 6日(土)	7月17日(水)	7月24日(水)	8月 7日(水)
第4回	8月24日(土)	7月 7日(日)～ 8月 9日(金)	免除	7月 7日(日)～ 8月10日(土)	8月28日(水)	9月 4日(水)	9月18日(水)
第5回	9月15日(日)	8月20日(火)～ 9月 6日(金)	免除	8月20日(火)～ 9月 7日(土)	9月18日(水)	9月25日(水)	10月 9日(水)
第6回	10月 6日(日)	9月 8日(日)～ 9月27日(金)	免除	9月 8日(日)～ 9月28日(土)	10月 9日(水)	10月16日(水)	10月30日(水)
第7回	11月10日(日)	9月29日(日)～11月 1日(金)	11月 1日(金)	9月29日(日)～11月 2日(土)	11月13日(水)	11月20日(水)	12月 4日(水)
第8回	12月 8日(日)	11月3日(日・祝)～11月29日(金)	11月29日(金)	11月3日(日・祝)～11月30日(土)	12月11日(水)	12月18日(水)	1月 8日(水)
第9回	1月26日(日)	12月 1日(日)～ 1月17日(金)	1月17日(金)	12月 1日(日)～ 1月18日(土)	2月 6日(木)	2月13日(木)	2月26日(水)
第10回	2月16日(日)	1月19日(日)～ 2月 7日(金)	2月 7日(金)	1月19日(日)～ 2月 8日(土)	2月19日(水)	2月26日(水)	3月12日(水)
第11回	3月 9日(日)	2月 9日(日)～ 2月28日(金)	2月28日(金)	2月 9日(日)～ 3月 1日(土)	3月11日(火)	3月17日(月)	3月17日(月)

●1月～3月の月日はすべて2025年です。
●いずれの日程も再受験可能です。

特待生制度(授業料減免制度)

一般入試／AO入試／資格・免許活用型入試(全11回)の各回において、下記の要件を満たした方には授業料を減免します。

対象者 入学試験(一般入試／AO入試／資格・免許活用型入試)の各回において、規程に基づき認定された特待生候補者の中から、理事長により決定された方。

減免額 1年次の第1期学納金(授業料等)(総額26万円)

入学試験成績の開示について

受験者本人(不合格者のみ)から請求があった場合に限り入学試験の成績を開示します。
成績開示を希望する方は、以下の要領でお申し込みください。

1. 開示請求対象者
当該年度受験者本人(不合格者のみ) ※代理人による請求は認めません。
2. 開示内容
 - ・総合得点
 - ・該当入試における合格最低点(総合得点)
3. 請求方法
 - 請求期間
2025年5月7日(水)～6月27日(金)
 - 提出書類
 - ①「入学試験・個人成績開示請求書」
※本学HPより、ダウンロードできます。
 - ②「入学試験受験票」
※入学試験受験票を紛失した場合は、「受験票紛失届出書」と「身分証明書のコピー」を合わせて提出してください。
4. 申込方法
上記の書類を請求期間内に、大阪保健医療大学 2号館1F事務局窓口に出してください。
(受付：平日9:00～17:00)
5. 開示方法
簡易書留郵便にて、「入学試験・個人成績開示請求書」に記載された住所に送付いたします。

一般入試

総合的な基礎学力を備え、かつ本学が目指すリハビリテーション専門職者にふさわしい資質や意欲を持った方を**多面的・総合的に選考**することを目的とした入学試験制度です。本学の言語聴覚専攻科がかかげるアドミッションポリシー・教育方針をよく理解した上で、本学での勉学を強く希望し、かつ、学業・人物ともに優れ、様々な活動に積極的に取り組み、医療の専門職を目指す方の出願を待っています。

出願資格

言語聴覚専攻科の入学資格を有する者 ※本誌P4をご参照ください。

入学試験科目

試験科目	時間	配点	合計点
小論文 (800字以内・与えられたテーマについての論述)	60分	100点	200点
面接	15分程度	100点	

※面接は出願状況により1～3名で行います。

入学試験時間割

集合	9:00
小論文	9:15～10:15
面接	10:35～

※面接は、10時35分より順次実施します。

出願書類(提出書類)

下記必要書類を【封筒貼付用宛名シート】を貼り付けた【任意の角2封筒】に封入し、速達・書留郵便として郵送(郵送受付期間)または本学へ持参(窓口受付期間)して、出願してください。

必要書類	
出願確認票	※必要項目をWeb入力後ダウンロード
入学志望動機書	※本学所定様式をダウンロードして 入力 or 手書き
成績証明書(大学)	※大学院は不可
卒業(見込)証明書(大学)	※大学院は不可

注1) 出願確認票の氏名と提出書類の氏名が異なる場合は、変更が証明できる書類(戸籍抄本など)を提出してください。

注2) 「入学資格」の2(本誌P4)に該当する方は、追加書類を提出していただく場合がありますので、インターネット出願登録前に必ず事務局TEL 06-6354-0091へご相談ください。

注3) 再受験される場合も同じ書類が必要となります。

注4) 成績証明書・卒業(見込)証明書は出願日から遡って1年以内に発行された証明書を提出してください。

※出願確認票、入学志望動機書、封筒貼付用宛名シートは、本学HP「インターネット出願ガイダンス」からダウンロードしてください。

AO入試

本学が目指すリハビリテーション専門職者にふさわしい資質や意欲を持った方を**これまでの経験などから多面的・総合的に選考する**ことを目的とした入学試験制度です。本学の言語聴覚専攻科がかかげるアドミッションポリシー・教育方針をよく理解した上で、本学での勉学を強く希望し、様々な活動に積極的に取り組み、医療の専門職を目指す方の出願を待っています。

出願資格

言語聴覚専攻科の入学資格を有する者 ※本誌P4をご参照ください。

入学試験科目

試験科目	時間	配点	合計点
書類選考(自己推薦書※)	-	20点	200点
小論文 (800字以内・与えられたテーマについての論述)	60分	80点	
面接	15分程度	100点	

※自己推薦書：本学所定の様式をダウンロードし、次の①及び②について入力または手書きにて作成し印刷(A4用紙)したものを出願書類に同封してください。

- ① 自己の経験と言語聴覚士になるにあたっての抱負を記載した自己PR文
※大学での経験、社会人としての経験、ボランティアや介護の経験、資格や検定の取得経験等、PR文に記載する経験についての指定はありません。(最大1,000字まで)
- ② アドミッションポリシーに関する自己PR文 (最大1,000字まで)

入学試験時間割

集合	9:00
小論文	9:15～10:15
面接	10:35～

※面接は、10時35分より順次実施します。

出願書類(提出書類)

下記必要書類を【封筒貼付用宛名シート】を貼り付けた【任意の角2封筒】に封入し、速達・書留郵便として郵送(郵送受付期間)または本学へ持参(窓口受付期間)して、出願してください。

必要書類	
出願確認票	※必要項目をWeb入力後ダウンロード
入学志望動機書	※本学所定様式をダウンロードして 入力 or 手書き
成績証明書(大学)	※大学院は不可
卒業(見込)証明書(大学)	※大学院は不可
自己推薦書	※本学所定様式をダウンロードして 入力 or 手書き

注1) 出願確認票の氏名と提出書類の氏名が異なる場合は、変更が証明できる書類(戸籍抄本など)を提出してください。

注2) 「入学資格」の2(本誌P4)に該当する方は、追加書類を提出していただく場合がありますので、インターネット出願登録前に必ず事務局TEL 06-6354-0091へご相談ください。

注3) 再受験される場合も同じ書類が必要となります。

注4) 成績証明書・卒業(見込)証明書は出願日から遡って1年以内に発行された証明書を提出してください。

※出願確認票、入学志望動機書、自己推薦書、封筒貼付用宛名シートは、本学HP「インターネット出願ガイダンス」からダウンロードしてください。

資格・免許活用型入試

本学が目指すリハビリテーション専門職者にふさわしい資質や意欲を持った方を**言語聴覚療法に関連する領域の国家資格を有する方から多面的・総合的に選考する**ことを目的とした入学試験制度です。本学の言語聴覚専攻科がかかげるアドミッションポリシー・教育方針をよく理解した上で、本学での勉学を強く希望し、様々な活動に積極的に取り組み、医療の専門職を目指す方の出願を待っています。

出願資格

以下①②のどちらかに該当する者

- ①言語聴覚専攻科の入学資格を有し、次の言語聴覚療法に関連する領域のいずれかの国家資格を有する者。

<国家資格>

理学療法士、作業療法士、看護師、管理栄養士、社会福祉士、歯科衛生士、介護福祉士、公認心理師

- ②言語聴覚専攻科の入学資格を有し、出願時点で下記のいずれかの資格・免許による2年以上の実務経験を有する者。

教員免許、保育士資格

※入学資格は本誌P4をご参照ください。

入学試験科目

試験項目	時間	配点	合計点
面接	15分程度	100点	100点

入学試験時間割

集合	9:00
面接	9:15～

※面接は、9時15分より順次実施します。

出願書類(提出書類)

下記必要書類を【封筒貼付用宛名シート】を貼り付けた【任意の角2封筒】に封入し、速達・書留郵便として郵送(郵送受付期間)または本学へ持参(窓口受付期間)して、出願してください。

必要書類	
出願確認票	※必要項目をWeb入力後ダウンロード
入学志望動機書	※本学所定様式をダウンロードして 入力 or 手書き
成績証明書(大学)	※大学院は不可
卒業(見込)証明書(大学)	※大学院は不可
国家資格・免許状の写し	
実務経験証明書 (教員免許、保育士資格で 出願する場合)	※勤めている(勤めていた)職場で発行してもらったもの(様式任意)で、2年以上の資格に基づく職務の実務経験を証明できるもの

注1) 出願確認票の氏名と提出書類の氏名が異なる場合は、変更が証明できる書類(戸籍抄本など)を提出してください。

注2) 「入学資格」の2(本誌P4)に該当する方は、追加書類を提出していただく場合がありますので、インターネット出願登録前に必ず事務局TEL 06-6354-0091へご相談ください。

注3) 再受験される場合も同じ書類が必要となります。

注4) 成績証明書・卒業(見込)証明書は出願日から遡って1年以内に発行された証明書を提出してください。

※出願確認票、入学志望動機書、封筒貼付用宛名シートは、本学HP「インターネット出願ガイダンス」からダウンロードしてください。

出願から入学手続まで

- ・入学試験日によって、入学金及び第1期学納金の納入日が異なります。
- ・合格通知を受けた合格者は、入学手続期間内に手続書類を提出し、入学金及び第1期学納金を納入締切日までに納入してください。
(学費等については本誌P13を参照してください)
指定期日までに納入されない場合、入学を辞退したものとみなします。
- ・2025年3月31日(月)17時までに入學辞退届を提出し受理された場合は、入学金以外の第1期学納金・各種会費等はすべて返還いたします(払込手数料を除く)。

出願手続

出願方法(インターネット出願)

①事前準備

【Post@net(受験生向けポータルサイト)のアカウント作成】

パソコンまたはスマートフォンから本学HP「インターネット出願」をクリック。Post@netのログイン画面が表示されるので、「新規登録」をクリック。利用規約と個人情報取扱いについて同意し、アカウント作成画面にて、各項目を入力し「登録」をクリックすると「仮登録メール送信完了」画面が表示されます。その後に送信されるメールに記載されているURLをクリックし、登録を完了させてください。

【必要な資料のダウンロード】

Post@netにログイン後、「学校一覧」から本学を選択し、「はじめに」から「インターネット出願ガイド」と各種本学所定の提出書類様式をダウンロードしてください。

②「インターネット出願ガイド」を参照して、出願に必要な書類などを準備する

③出願登録を行う

パソコンまたはスマートフォンから本学HP「インターネット出願」をクリック。Post@netにログイン後、「学校一覧」から本学を選択し「初回出願登録」をクリック、または「出願内容一覧」から本学を選択し「追加出願」をクリックし、画面の指示にしたがって登録内容を入力し、証明写真をアップロードしてください。

登録内容

- 1 出願情報(試験区分)
- 2 志願者情報
- 3 入学検定料支払方法

支払方法

- ☐ クレジットカード ☐ コンビニエンスストア
☐ 銀行ATM(ペイジー) ☐ ネットバンキング
※別途支払手数料が必要です。

アップロードする写真の注意点

写真データ

- ※カラー写真で鮮明なもの。出願確認票もカラーで印刷してください。
- ※試験日から遡って3ヵ月以内に撮影した上半身無帽のもの
- ※試験時間中に眼鏡をかける方は眼鏡をかけて撮影してください。

- ネット出願の際にアップロードする必要があるため、出願を行うパソコン、スマートフォン等にデータを保存しておいてください。
- 写真データ形式は「JPEG」です。
- ※他のデータ形式はアップロードできません。
- 画像データは3MB以下としてください。
- ※画像データが大きすぎる場合は「ペイント」等、画像編集アプリで調整できます。
- 写真は出願登録及び入試当日の本人確認に使用します。

④入学検定料を支払う(第1回～第6回入試出願者は対象外)

第7回～第11回入試を出願される場合は選択した支払方法にしたがって、支払期限までに入学検定料を支払います。

⑤出願書類の印刷・郵送

入学検定料の支払い後、Post@netにログインの上、「出願内容一覧」から本学を選択し「出願内容を確認」をクリック。【出願確認票】【封筒貼付用宛名シート】をダウンロードし、A4で印刷してください。【任意の角2封筒】に【封筒貼付用宛名シート】を貼り付けて【出願確認票】、【入学志望動機書】、【成績証明書(大学)】、【卒業(見込)証明書(大学)】等の出願書類(本誌P6～P8参照)を封入し、《出願書類提出期限(本誌P4参照)》に間に合うように郵送または持参してください。

⑥出願完了

Post@net(受験生向けポータルサイト)の操作がわからない方は、「よくある質問」からお問い合わせが可能です。入試制度に関するご質問は本学窓口へお問い合わせください。

入学検定料

早期進学支援(入学検定料免除)

◆ 第1回～第6回の入学検定料／ **免除**

◆ 第7回～第11回の入学検定料／ **30,000円**

※第1回～第6回の入試については、再受験される場合も免除されますが、第7回～第11回の入試を再受験される場合は同一金額となります。

※クレジットカード、コンビニエンスストア、銀行ATM(ペイジー)、ネットバンキングから選択し、支払期限までにお支払いください。

※別途支払手数料が必要です。

出願書類提出先

大阪保健医療大学 2号館

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目17番3号 TEL:06-6354-0091

出願に際しての注意事項

- インターネット出願登録にあたり、入力可能な文字は、JIS(日本工業規格)第2水準までの漢字となっており、それ以外の文字(いわゆる外字等)については、JIS第2水準までの漢字に置き換えて入力してください。その場合は、必ず入試日までに電話等で申し出ていただくとともに出願確認票を手書きで修正(訂正印)してください。受験者への通知等において、JIS第2水準までの漢字またはカタカナ等で表記する場合があります。
- 出願には余裕をもち、出願書類の準備(写真データ、成績証明書、卒業(見込)証明書、入学検定料払込み)・郵送等は早めに行ってください。
- いったん受理した出願書類、入学検定料はいかなる理由があっても返還できません。

受験票について

1. 出願書類の受理、入学検定料の入金が確認されると「デジタル受験票ダウンロード指示メール」が届きます。
出願ガイダンスページの「出願内容を確認」にアクセスして「デジタル受験票」をダウンロードし、印刷して大切に保管してください。
2. 試験日の2日前になってもメールが届かない場合は、事務局TEL 06-6354-0091 へお問い合わせください。
3. 入学試験当日は受験票を必ず携帯してください。
万一、受験票を紛失したり忘れたりした場合は、会場で事務局もしくは試験監督者に申し出て指示を受けてください。

受験上及び修学上の特別な配慮が必要な方へ

本学では、障がいや疾病及び怪我などにより受験上及び修学上の特別な配慮（入学後の大学生活等）を必要とする方は事前相談及び申請が必要です。このページの手順に従って、手続きを行ってください。

なお、申請が行われた場合、可能な範囲で障がい等の程度に応じた措置を講じますが、すべてのご希望に沿えるとは限りませんのであらかじめご了承ください。

① 電話・メール等による申し込み

配慮が必要な旨、本学事務局入試担当まで電話・メール等にてご連絡ください。

氏名・連絡先・障がいの程度などを伺います。

電話受付期限

各入試の出願登録開始日の原則3週間前まで ※本誌P4をご参照ください。

連絡先

大阪保健医療大学 事務局入試担当TEL 06-6354-0091（代表番号） メールアドレス：info@ohsu.ac.jp

平日／9：00～17：00 ※事前のお問い合わせがない場合、配慮ができないことがあります。

② 受験前面談

申込み内容に基づき、必要な場合は来学していただき、事前面談を実施します。教員と入試担当職員、教学担当職員（修学上の配慮を希望する場合）で対応し、配慮内容にご納得いただいた上で出願手続きをしていただきます。

③ 書類による申請（各入試の出願登録開始日の1週間前まで）

本学所定書式「受験上及び修学上の配慮申請書」を言語聴覚専攻科HPよりダウンロードし、ご記入の上、本学事務局入試担当までご提出ください。

郵送先：〒530-0043 大阪市北区天満1丁目17番3号 大阪保健医療大学 事務局入試担当宛

※現在の体調や必要な措置に関する医師の見解について具体的に明記された診断書もしくは、「身体障害者手帳の写し（該当者のみ）」が必要です。

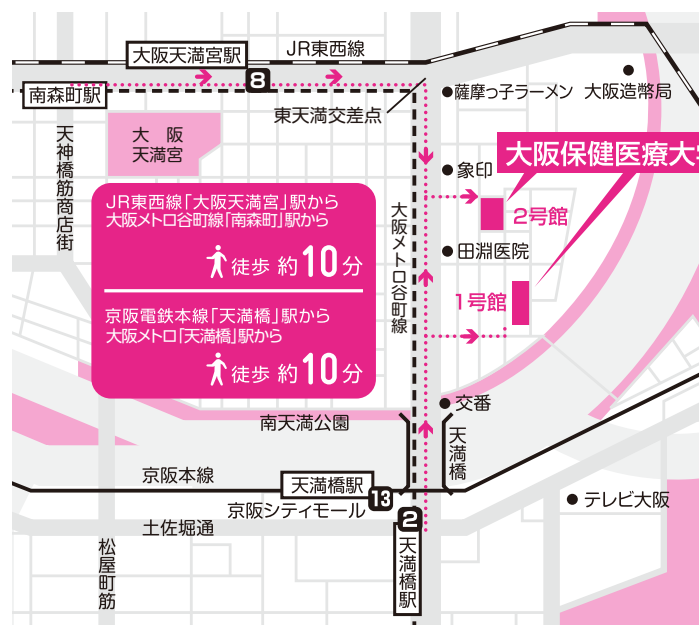
④ 回答について

提出された申請書類に基づき、本学で配慮内容を決定し、「受験上の配慮事項審査結果通知書」をお渡します。

内容をご確認いただき、ご承諾いただいた場合は、出願書類に同封して「承諾書」をご提出いただきます。

※入試及び入学後の就学への配慮内容にご納得いただいた上で出願手続きをしてください。

入学試験会場案内



当日の会場については、
受験票をご確認ください。

会場：大阪保健医療大学 1号館
大阪保健医療大学 2号館

大阪から約4分

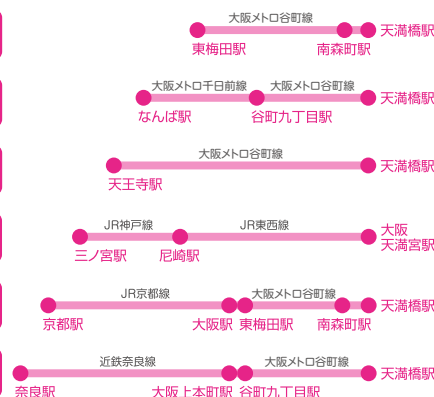
難波から約7分

天王寺から約9分

三ノ宮から約29分

京都から約34分

奈良から約37分



※掲載各駅より大学最寄り駅までの最短所要時間です。所要時間に乗り継ぎ時間などは含みません。

入学試験についての注意事項

1. 受験生は、集合時間までに試験会場に入り、試験監督者の指示に従ってください。試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
2. 受験票は、試験当日必ず携帯し、万一、受験票を紛失、または忘れた場合は、会場事務局もしくは試験監督者に申し出て、その指示に従ってください。
3. 試験会場においては、必ず自分の受験番号と同じ番号の席に着席してください。
4. 試験時間中は、受験票を常に机上に置いてください。
5. 受験票の他に試験時間中、机上に置けるものは、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、時計（時計機能だけのもの）、眼鏡だけです。
6. 教室内に時計はありませんので、必要であれば持参してください（携帯電話不可）。
7. 試験監督者の「やめ」の指示に従って直ちに筆記具を置き、解答をやめてください。着席したまま試験監督者の指示に従ってください。試験監督者の指示のない場合は、退場できません。
8. 試験時間中は、手洗所に行くことは原則としてできませんが、やむを得ない場合は、試験監督者に申し出てください。
9. 携帯電話等の電源は必ず切って、アラーム機能等も必ず解除してください。
10. 試験の際、不正行為があった場合、直ちに退場させることがあります。
11. 上履きは不要です。
12. 試験会場においては、ここに記載した以外の注意事項を含め、すべて試験監督者の指示に従ってください。
13. 面接順序によっては、終了時刻が午後になりますので、昼食をご用意ください。（試験会場の外に出ることはできません。空き時間に受験者待機室でおとりください。）
14. 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザなど）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として本学入学試験の受験をご遠慮願います。入学試験を欠席する場合は、入学試験当日集合時間（9:00）までに、試験会場TEL 06-6352-0093（1号館）またはTEL 06-6354-0091（2号館）へご連絡ください。
15. 緊急時における入学試験の対応については、本学HPまたは言語聴覚専攻科HPでお知らせします。受験の前に確認してください。
16. 降雪等による交通機関への影響に十分に留意し、たとえ遅延が発生しても試験開始時間に遅れないよう、必ず余裕を持って出発してください。万一、実際にこのようなケースが発生した場合は、速やかに該当する試験会場TEL 06-6352-0093（1号館）またはTEL 06-6354-0091（2号館）へご連絡ください。なお、不測の事態により試験の中止・延期、試験開始時刻の繰り下げや正規の試験時間を確保するための試験時間の延長、それらを理由とした休憩時間の調整などの措置をとった場合、それによって生じた受験者の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
17. 自然災害（地震・洪水・台風などの自然現象が直接原因となって起こる災害を指す）や、人身事故等による交通機関の運休・大幅な遅延などにより、試験開始時間に間に合わない場合、または来学ができない場合は、原則として集合時間（9：00）までに該当する試験会場TEL 06-6352-0093（1号館）またはTEL 06-6354-0091（2号館）へご連絡ください。なお、このような場合も原則として個別対応は行いません。全学的な対応については、本学HPまたは言語聴覚専攻科HPでお知らせします。
18. その他の注意事項については、本学公式HPまたは言語聴覚専攻科HPでお知らせしますので、適宜ご確認ください。

合格発表

- 合格結果についてご本人に速達郵便で通知します。学内掲示等による合格発表は行いません。
- 電話等による可否のお問い合わせには一切応じることができませんが、可否通知書発送日から3日以上経過しても通知が届かない場合は、事務局TEL 06-6354-0091 へお問い合わせください。

〔合格取り消し〕

合格後に出願書類の偽造や虚偽の記載があった場合、あるいは本学の懲罰規程に準ずる行為が発覚した場合には、合格が取り消しになる場合があります。

入学手続

入学金・学費(年間6期分納制)

年 次			入学金	学納金(授業料等)	合 計
1年次	前期	第1期(入学前※)	300,000	260,000	560,000
		第2期(6月末日)	—	230,000	230,000
		第3期(8月末日)	—	230,000	230,000
	後期	第4期(9月末日)	—	230,000	230,000
		第5期(12月末日)	—	230,000	230,000
		第6期(2月末日)	—	230,000	230,000
2年次	前期	第1期(4月末日)	—	260,000	260,000
		第2期(6月末日)	—	230,000	230,000
		第3期(8月末日)	—	230,000	230,000
	後期	第4期(9月末日)	—	230,000	230,000
		第5期(12月末日)	—	230,000	230,000
		第6期(2月末日)	—	230,000	230,000
合 計	3,120,000				

1. 学外実習に伴う費用(交通費は除く)は学納金(授業料等)に含まれています。
2. 各種会費等(各年次の第1期学納金納入時)

※入学試験日によって、入学金及び1年次第1期学納金の納入締切日が異なります。(本誌P4参照)

1年次	校友会費	20,000円
	学生自治会費	10,000円
	学生生活補償管理費	12,000円
	教育講演会費	5,000円
	補助教材費	10,000円
	計	57,000円

2年次	—	—
	学生自治会費	10,000円
	学生生活補償管理費	12,000円
	教育講演会費	5,000円
	補助教材費	10,000円
	計	37,000円

3. 教科書・教材費等は別途実費徴収となります。
4. 入学手続時納付金を全額納入し入学手続を完了後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合、2025年3月31日(月)17時までに入学辞退届を提出し、受理された者に限り、入学金を除く第1期学納金・各種会費等を返還します(振込手数料は除く)。

授業料減免制度

本学では、下記の4種の減免制度があります。

- ・特待生制度（授業料減免制度）
- ・入学後の成績優秀者を対象とする授業料減免制度（2年次第1期学納金より15万円減免）
- ・経済的な理由が生じた学生を対象とする授業料減免制度
- ・標準在学年数を超過した学生を対象とする授業料減免制度（適用人数：有資格者全員）

特待生制度（授業料減免制度）

入学試験（一般入試／AO入試／資格・免許活用型入試）（全11回）の各回において、下記の要件を満たした方には授業料を減免します。

対象者 入学試験（一般入試／AO入試／資格・免許活用型入試）の各回において、規程に基づき認定された特待生候補者の中から、理事長により決定された方。

減免額 1年次の第1期学納金（授業料等）（総額26万円）

奨学金制度ほか

【日本学生支援機構 奨学金】

- ・第一種奨学金（無利子）
貸与月額／自宅通学者
2万・3万・4万・5万4千円
自宅外通学者
2万・3万・4万・5万・6万4千円
返還期間／最長20年以内
- ・第二種奨学金（有利子、利率3%上限）
貸与月額／2万・3万・4万・5万・6万・7万・8万・9万・10万・11万・12万より希望する奨学金を選択
返還期間／最長20年以内
※2023年度実績
※貸与条件については、日本学生支援機構HPをご確認ください。
※本学入学後に募集を行います。詳しくは、本学入学後、4月に奨学金説明会を実施いたします。

【国の教育ローン（日本政策金融公庫）】

本学の入学者または在学者は、「国の教育ローン」を利用することができます。「国の教育ローン」は、教育のために必要な資金を融資する公的な制度で、入学時や在学中の費用として幅広く使うことができます。

- 利用できる方……………本学に入学・在学する学生の保護者または本人
ローンの金額……………350万円以内
ローンの対象……………入学金・授業料・教科書費用・下宿費用等（1年間にかかる費用）
返済期間……………18年以内
利息……………年2.25%（2023年10月2日現在）
（母子家庭、父子家庭または世帯年収200万円、所得32万円以内などの方は上記利率の▲0.4%）
返済方法……………①毎月元利均等払い（ボーナス月（年2回）の増額返済可能）
②元金据置（在学期間中は利息のみの支払いが可能）
問い合わせ先……………教育ローンコールセンター（日本政策金融公庫国民生活事業）ナビダイヤルTEL 0570-008656
※ナビダイヤルがご利用いただけない場合はTEL 03-5321-8656におかけください。
<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

「日本学生支援機構の奨学金」と「国の教育ローン」はどこが違うの？

下表のとおり、利用者、お申込み時期、ご融資の受け取り方などに違いがあります。

制度の比較	日本学生支援機構の奨学金	国の教育ローン
使 用 者	学生本人	保護者 または 本人
お 申 込 み 時 期	決められた募集時期	いつでも可能 (必要時期の2～3カ月前が目安)
ご融資の受け取り方	毎月定額	1年分まとめて
ご 利 用 可 能 額	第一種奨学金：毎月2～4万円または5.4万円(※) (私立大学、自宅通学の場合) ※5.4万円とするには一定の要件があります。 第二種奨学金：毎月2～12万円から選択	1人あたり350万円以内 ※海外留学資金の場合は450万円以内
お 申 込 み 窓 口	大阪保健医療大学(入学後)	日本政策金融公庫の各支店

福田学園提携オリコ学費サポートプラン

本学に入学するに際し、学費を貸与する制度です。
希望者は合格後にオンライン学費サポートプランお申込み画面から、または
下記の学費サポートデスクにお申込みください。

利用できる方 本学に入学または在学する学生の保護者等または本人(社会人)

返済方法

- ①通常返済
- ②ステップアップ返済
※在学中は分割払手数料のみお支払い。卒業後は通常返済に準じてのご返済。
- ③親子リレー返済

<問い合わせ先>

(株)オリエントコーポレーション 学費サポートデスク
☎ 0120-517-325

【オンライン学費サポートプランお申込み画面】

<https://orico-web.jp/gakuhi/index.html?clientid=07580111>



教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)

受給には条件あり ※2025年4月入学者は継続申請予定。

教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)とは ※一定の条件を満たした場合

入学金・授業料の
50%の額を支給
(2年間で最大80万円)

本学を卒業後、1年以内に
言語聴覚士の資格を取得し、
雇用保険の被保険者として
雇用された場合

追加

70%で専門実践教育訓練
給付金を再計算し、
既支給分の差額を支給
(最大32万円)

合計

2年間で
最大112万円

■教育訓練給付とは？

一定の条件を満たすことで、教育訓練経費(2年間で最大80万円)が支給される制度です。学費を納付後、半年ごとに支給されます。

キャリアアップを目指す在职者・離職者を支援する制度です。

■給付を受けることができる方

本学に入学する時点で、通算して2年以上の雇用保険の被保険者期間を有している在职者または、過去に通算して2年以上の雇用保険の被保険者期間を有し、入学日から遡って1年以内の離職者。

詳しくはハローワークやHPなどでご確認ください。

■問い合わせ先 お住まいの地域を管轄するハローワーク

◎ハローワークホームページ https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html
(教育訓練給付制度のページ)



学校教育法施行規則

第155条 学校教育法第91条第2項又は第102条第1項本文の規定により、大学(短期大学を除く。以下この項において同じ。)の専攻科又は大学院への入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。ただし、第7号及び第8号については、大学院への入学に係るものに限る。

- 1 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- 2 外国において、学校教育における16年(医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程(当該課程に係る研究科の基礎となる学部)の修業年限が6年であるものに限る。以下同じ。)又は獣医学を履修する博士課程への入学については、18年)の課程を修了した者
- 3 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年(医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程又は獣医学を履修する博士課程への入学については、18年)の課程を修了した者
- 4 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年(医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程又は獣医学を履修する博士課程への入学については、18年)の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- 4-2 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年(医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程又は獣医学を履修する博士課程への入学については、5年)以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- 5 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 6 文部科学大臣の指定した者
- 7 (略)
- 8 (略)

個人情報の取り扱いについて

入学試験の出願にあたって提出された入学志願書等に記載されている個人情報については、個人情報保護法に基づき厳重かつ適切に管理し、以下の利用目的の範囲内で利用します。提出された個人情報は、業務の円滑な実施のためにデータベースに登録することがあります。また、業務の一部を、本学より学外の業者(以下「委託業者」)に委託することがあります。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報を開示することがあります。予めご了承ください。

【個人情報の利用目的】

- ①入学試験に関わる受験票や可否通知の発送 ②事務連絡 ③入学試験の結果判定 ④入学手続の案内や確認 ⑤新入生の受け入れ準備
⑥募集／出願／入学状況の統計分析 ⑦その他、前述の範囲内で、これらに付随する事項を行うための利用

入試Q&A(よくある質問)

出願資格について

Q. 入学資格は大卒ということですが、修業年限が4年以上の専門学校卒業の場合、資格はありますか？ 学校教育法施行規則の第155条第1項第5号に該当するのではと思っています。

※【学校教育法施行規則】につきましては本誌P16をご覧ください。

A. 専門学校卒業時に「高度専門士」の称号が付与されている場合、本学専攻科への受験資格があります。出願の際には、高度専門士であることが判る卒業証明書を提出していただく必要があります。

[補足]

「4年制課程の専門学校を卒業」＝「高度専門士の称号が付与される」と誤解されていることがあります。4年制であっても、文部科学省が認めていなければ高度専門士の課程ではない場合があり、同じ学校で同じ4年制の課程でも、ある期間だけ「高度専門士」を付与され、他の期間は「専門士」のままという場合もあります。

Q. 「高度専門士」「専門士」のいずれに該当するかは、どのように確認をすれば良いですか？

A. 卒業された学校にご確認いただくのが確実です。
詳しくは、文部科学省HPの関連ページもご参照ください。

Q. 大学院に入学・修了しているのですが、出願資格はありますか？

A. 出願資格があるとは限りません。大学院に入学・修了されていても「4年制大学を卒業した」＝「学士の称号を付与されている」、「文部科学大臣が指定した4年制課程の専門学校を卒業した」＝「高度専門士を付与されている」とは一概には言えないからです。
「学士」や「高度専門士」でなくても、当該大学院の個別の出願資格審査により、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められ、試験に合格すれば大学院に入学できる場合もあります。

Q. 外国の大学を卒業していますが、出願資格はありますか？

A. 外国において、学校教育における16年(医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程(当該課程に係る研究科の基礎となる学部の修業年限が6年であるものに限る。以下同じ。)>または獣医学を履修する博士課程への入学については、18年)の課程を修了した方は、出願資格があります。その他、本誌P16の学校教育法施行規則を併せてご確認ください。

Q. 外国の大学を卒業した場合、すぐに出願をしても良いですか？

A. 出願資格の有無について確認をしますので、まずは事前に出身大学名等の情報をお知らせください。本出願をされる際には出身大学から取り寄せた「成績証明書」「卒業証明書」の原紙と当該内容を日本語に翻訳した文書を一緒にご提出ください。本学で内容を確認する時間が必要ですので、出願までの具体的なスケジュールも含めて、事前にご相談をいただけますよう、予め日程に余裕をもってご対応ください。

言語聴覚専攻科

医療・福祉・教育分野で
コミュニケーションや摂食嚥下に障がいを抱えた方の
自分らしい暮らしを援助する
プラス1の想い

公益財団法人 日本バラスポーツ協会
中級バラスポーツ指導員資格取得認定校
学校法人 福田学園



Osaka Health Science University
医療・福祉・スポーツをリハビリテーションで支える
大阪保健医療大学

事務局

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目9番27号

 **0120-581-834**

TEL.06-6352-0093 FAX.06-6352-5995

✉ info@ohsu.ac.jp <https://ohsu.ac.jp>

大阪保健医療大学

保健医療学部 リハビリテーション学科

PT 理学療法学専攻
Department of Physical Therapy

OT 作業療法学専攻
Department of Occupational Therapy

専攻科(2年課程)

対象:4年制大学卒業生

ST 言語聴覚専攻科(専門実践教育訓練指定講座継続申請予定)
Postgraduate Course, Diploma Program in Communication Sciences and Disorders
<https://st.ohsu.ac.jp>

大学院

夜間開講制

保健医療学研究科・保健医療学専攻[生活機能支援学分野]

<https://ohsu.ac.jp/postgraduate/>

- 脳神経疾患身体障害支援学領域(「職業実践力育成プログラム」(BP)認定講座)(一般教育訓練指定講座)
- 運動器疾患・スポーツ傷害身体障害支援学領域(「職業実践力育成プログラム」(BP)認定講座)(一般教育訓練指定講座継続申請予定)
- 認知・コミュニケーション障害支援学領域(一般教育訓練指定講座継続申請予定)
- 健康生活支援学領域(一般教育訓練指定講座)



本学は公益財団法人
日本高等教育評価機構による
大学機関別認証評価で
適合の認定を受けています